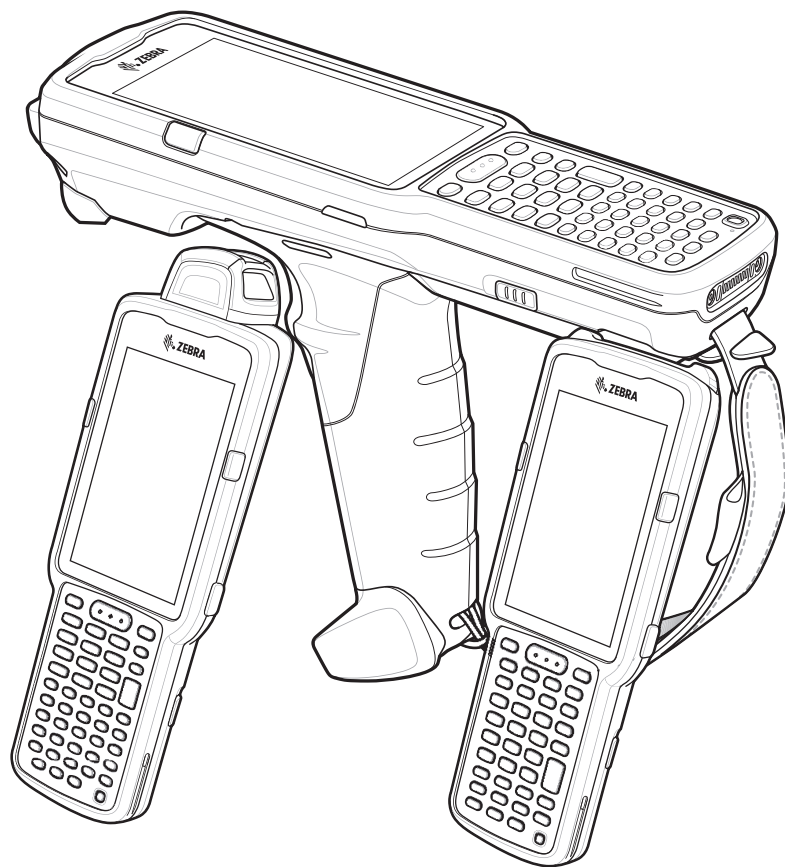
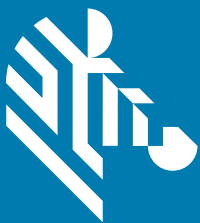


MC33XX

モバイル コンピュータ



クイック スタート ガイド



ZEBRA

著作権

© 2018 ZIH Corp. および / またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、ZIH Corp. の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。Google、Android、Google Play、およびその他の商標は、Google LLC の商標です；Oreo は、Mondelez International, Inc. グループの商標です。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

著作権および商標：著作権および商標の詳細情報については、www.zebra.com/copyright を参照してください。

保証：保証に関する詳細情報については、www.zebra.com/warranty を参照してください。

エンド ユーザー ソフトウェア使用許諾契約：EULA の詳細情報については、www.zebra.com/eula を参照してください。

使用の条件

所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社（「Zebra Technologies」）に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザー向けに、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者への開示を行うことは認められません。

製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。仕様および設計は、すべて予告なしに変更されることがあります。

免責条項

Zebra Technologies は、一定の手続きを通じて、公開したエンジニアリングの仕様とマニュアルが適正であることを確認しています。ただし、エラーが発生する可能性は皆無ではありません。Zebra Technologies は、かかるエラーを修正する権利を留保し、それに起因する責任を負わないものといたします。

責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、または同梱製品（ハードウェアおよびソフトウェアを含む）の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の管轄区域では、付随的または間接的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

保証

Zebra の完全なハードウェア製品の保証については、サイト (www.zebra.com/warranty) にアクセスしてください。

サービスに関する情報

本機器を使用する前に、お客様のネットワーク環境で運用するための設定、およびお使いのアプリケーションを実行するための設定を行ってください。

本機器の使用中に問題が発生する場合は、お客様の使用環境を管理する技術サポートまたはシステム サポートにお問い合わせください。本機器に問題がある場合、各地域の技術サポートまたはシステム サポートの担当者が、Zebra グローバル カスタマー サポート (www.zebra.com/support) に問い合わせます。

このガイドの最新版は、www.zebra.com/support から入手可能です。

マニュアルに関するフィードバック

このガイドについてのご意見、ご質問またはご提案がある場合は、EVM-Techdocs@zebra.com まで電子メールにてご連絡ください。

構成

特に記載のない限り、このガイドで使用されている MC33XX は、すべての構成をさします。MC33XX-G はトリガ構成をさします。MC33XX-R は回転構成をさします。MC33XX-S はストレート構成をさします。

MC33XX-G の機能

図 1 MC33XX-G 正面図

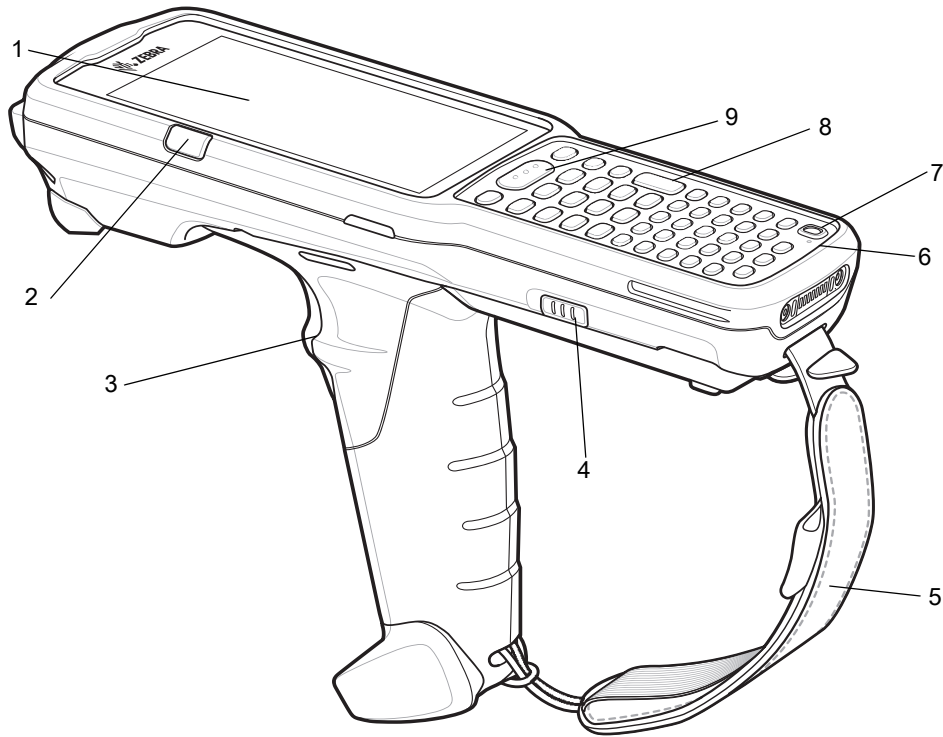


表 1 MC33XX-G の機能 - 正面図

番号	項目	機能
1	ディスプレイ	MC33XX-G の操作に必要なすべての情報が表示されます。
2	充電 LED スキャン/デコード ステータス	充電中のバッテリー充電状態またはスキャン/デコード状態を示します。
3	トリガ	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。
4	バッテリー リリース ラッチ	バッテリーをデバイスから取り出します。
5	ハンドストラップ	デバイスを確実に持つため使用します。
6	マイク	ハンドセット モードでの通信に使用します。
7	電源ボタン	押し続けると MC33XX-G の電源がオンになります。ボタンを押すと、画面がオンまたはオフになります。ボタンを押し続けて、次のオプションから 1 つを選択します。 [電源オフ] - MC33XX-G の電源をオフにします。 [リブート] - ソフトウェアが応答を停止した場合に、MC33XX-G を再起動します。 [機内モード] - すべての無線接続が無効になります。 [サイレント モード] - アラーム以外のすべての通知が無効になります。

表 1 MC33XX-G の機能 - 正面図 (続き)

番号	項目	機能
8	キーパッド	データの入力と画面機能の操作に使用します。
9	スキャン ボタン	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。

図 2 MC33XX-G 背面図

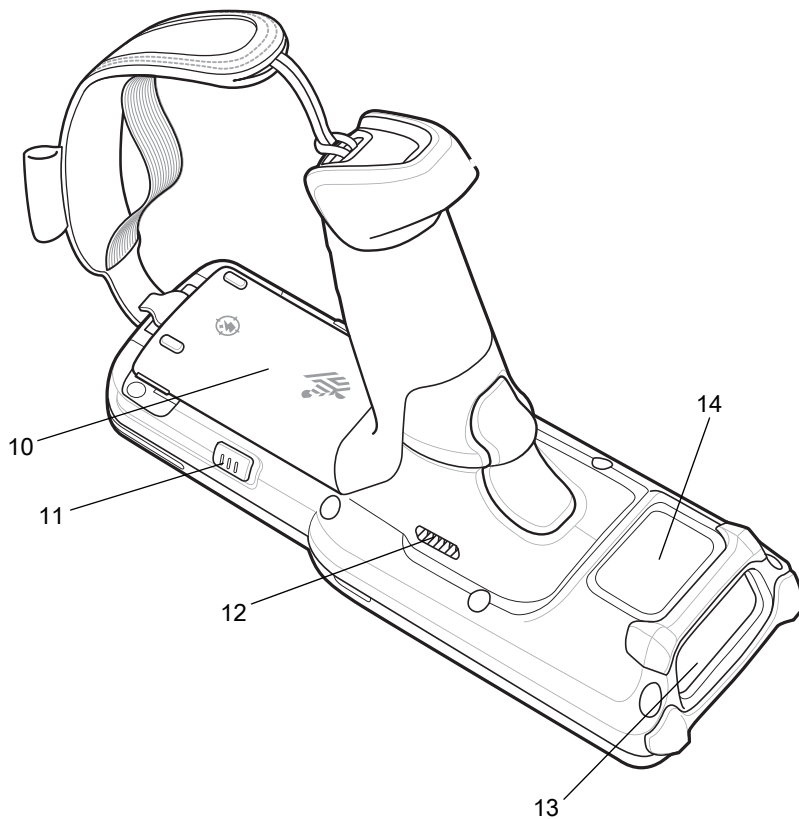


表 2 MC33XX-G の機能 - 背面図

番号	項目	機能
10	バッテリー	デバイスの動作に必要な電力を供給します。
11	バッテリー リリース ラッチ	バッテリーをデバイスから取り出します。
12	スピーカ	ビデオと音楽の再生にオーディオを出力します。
13	スキャナ ウィンドウ	スキャナを使用したデータ読み取りに使用します。
14	NFC アンテナ	他の NFC 対応デバイスとの通信を提供します。

MC33XX-R の機能

図3 MC33XX-R 正面図

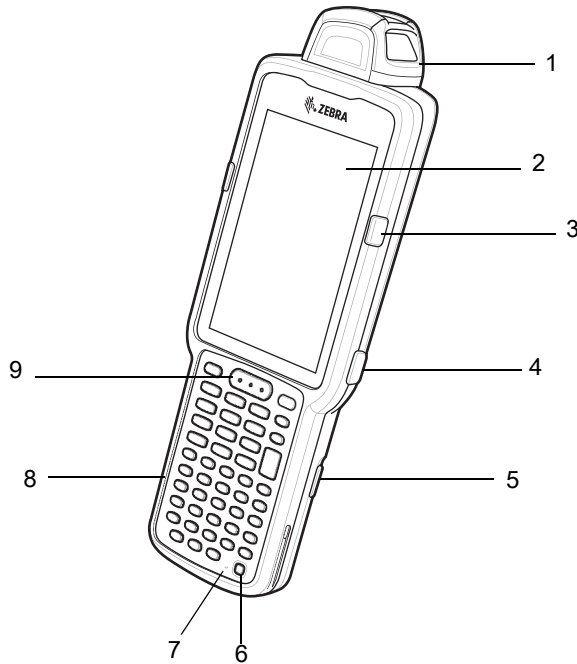


表3 MC33XX-R の機能 - 正面図

番号	項目	機能
1	回転式ヘッド	スキャンしやすい位置に回転します。
2	ディスプレイ	MC33XX-R の操作に必要なすべての情報が表示されます。
3	充電 LED スキャン/デコード ステータス	充電中のバッテリー充電状態またはスキャン/デコード状態を示します。
4	側面キー スキャン ボタン	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。
5	バッテリー リリース ラッチ	バッテリーをデバイスから取り出します。
6	電源ボタン	押し続けると MC33XX-R の電源がオンになります。ボタンを押すと、画面がオンまたはオフになります。ボタンを押し続けて、次のオプションから 1 つを選択します。 [電源オフ] - MC33XX-R の電源をオフにします。 [リブート] - ソフトウェアが応答を停止した場合に、MC33XX-R を再起動します。 [機内モード] - すべての無線接続が無効になります。 [サイレント モード] - アラーム以外のすべての通知が無効になります。
7	マイク	ハンドセット モードでの通信に使用します。

表 3 MC33XX-R の機能 - 正面図 (続き)

番号	項目	機能
8	キーパッド	データの入力と画面機能の操作に使用します。
9	スキャン ボタン	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。

図 4 MC33XX-R 背面図

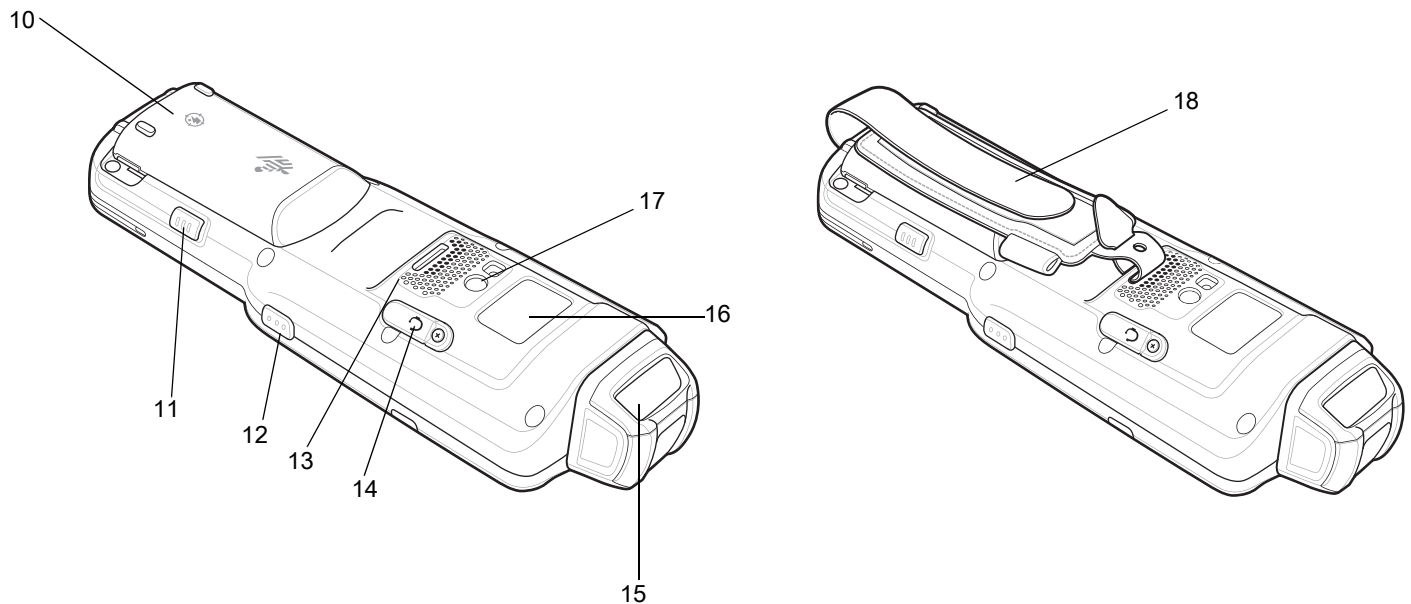


表 4 MC33XX-R の機能 - 背面図

番号	項目	機能
10	バッテリー	デバイスの動作に必要な電力を供給します。
11	バッテリー リリース ラッチ	バッテリーをデバイスから取り出します。
12	側面キー スキャン ボタン	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。
13	スピーカ	ビデオと音楽の再生にオーディオを出力します。
14	オーディオ ジャック	ヘッドセット (2.5 mm ジャック) に接続します。
15	スキャナ ウィンドウ	スキャナを使用したデータ読み取りに使用します。

表 4 MC33XX-R の機能 - 背面図 (続き)

番号	項目	機能
16	NFC アンテナ	他の NFC 対応デバイスとの通信を提供します。
17	カメラ/フラッシュ	カメラの照明に使用します。
18	ハンドストラップ	デバイスを確実に持つため使用します。

回転式スキャンヘッド

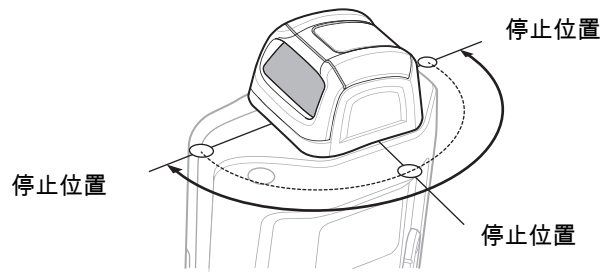
MC33XX-R には、3 箇所まで停止する回転式ヘッドが搭載されています。この機能により、スキャン位置を柔軟に調整できます。



注意

ヘッドは、横の停止位置を越えて無理に回転させないでください。デバイスを損傷する可能性があります。

図 5 MC33XX-R 回転式ヘッド



MC33XX-S の機能

図6 MC33XX-S 正面図

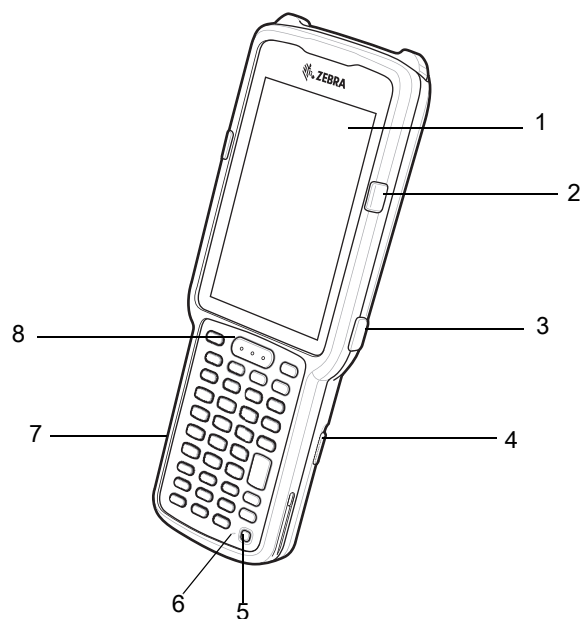


表5 MC33XX-S の機能 - 正面図

番号	項目	機能
1	ディスプレイ	MC33XX-S の操作に必要なすべての情報が表示されます。
2	充電 LED スキャン/デコード ステータス	充電中のバッテリー充電状態またはスキャン/デコード状態を示します。
3	側面キー スキャン ボタン	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。
4	バッテリー リリース ラッチ	バッテリーをデバイスから取り出します。
5	電源ボタン	押し続けると MC33XX-S の電源がオンになります。ボタンを押すと、画面がオンまたはオフになります。ボタンを押し続けて、次のオプションから 1 つを選択します。 [電源オフ] - MC33XX-S の電源をオフにします。 [リブート] - ソフトウェアが応答を停止した場合に、MC33XX-S を再起動します。 [機内モード] - すべての無線接続が無効になります。 [サイレント モード] - アラーム以外のすべての通知が無効になります。
6	マイク	ハンドセット モードでの通信に使用します。

表 5 MC33XX-S の機能 - 正面図 (続き)

番号	項目	機能
7	キーパッド	データの入力と画面機能の操作に使用します。
8	スキャン ボタン	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。

図 7 MC33XX-S 背面図

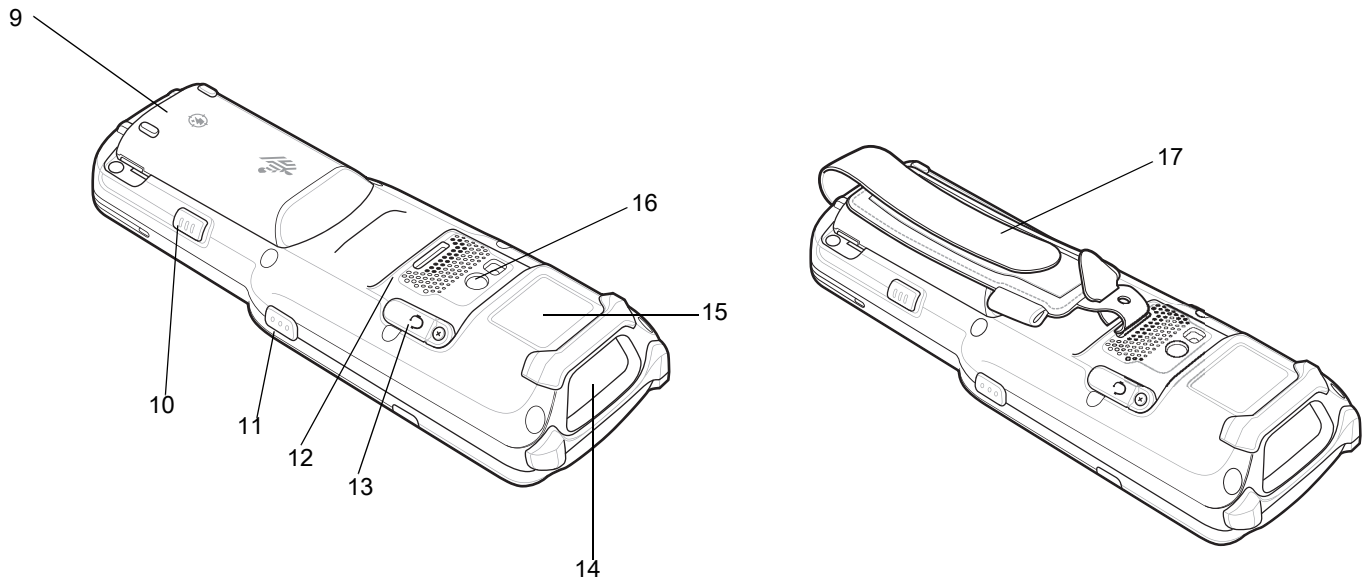


表 6 MC33XX-S の機能 - 背面図

番号	項目	機能
9	バッテリー	デバイスの動作に必要な電力を供給します。
10	バッテリー リリース ラッチ	バッテリーをデバイスから取り出します。
11	側面キー スキャン ボタン	スキャン アプリケーションが有効な場合、データ読み取りを開始します。
12	スピーカ	ビデオと音楽の再生にオーディオを出力します。
13	オーディオ ジャック	ヘッドセット (2.5 mm ジャック) に接続します。
14	スキャナ ウィンドウ	スキャナを使用したデータ読み取りに使用します。

表 6 MC33XX-S の機能 - 背面図 (続き)

番号	項目	機能
15	NFC アンテナ	他の NFC 対応デバイスとの通信を提供します。
16	カメラ/フラッシュ	カメラの照明に使用します。
17	ハンドストラップ	デバイスを確実に持つため使用します。

設定

MC33XX を初めて使用する際には、次のことを行います。

- microSD カードの取り付け (オプション)
- バッテリーの取り付け
- MC33XX の充電
- MC33XX の電源をオンにする

microSD カードの取り付け

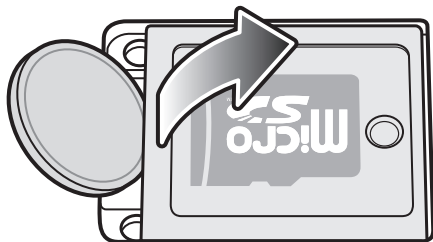
microSD カード スロットに microSD カードを挿入して不揮発性のセカンダリ ストレージとして使用できます。スロットはバッテリー パックの下にあります。詳細については、カードに添付されているマニュアルを参照し、メーカー推奨の使用方法に従ってください。



注意 microSD カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項をお守りください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上での作業や、作業する場合の適切な接地などが記載されています。

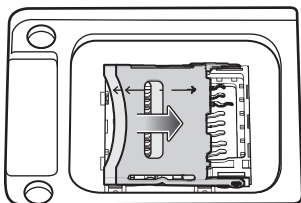
1. コインや指で microSD カード カバーを取り外します。

図8 microSD カード カバーの取り外し



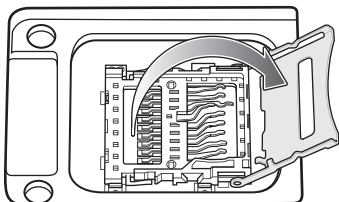
2. microSD カード ホルダーをスライドさせて開きます。

図9 microSD カード ホルダーのロック解除



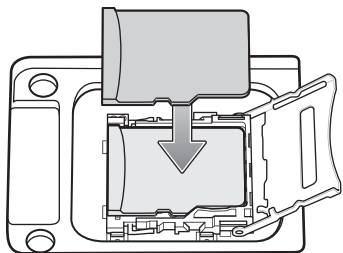
3. microSD カード ホルダーを持ち上げます。

図10 microSD カード ホルダーを持ち上げる



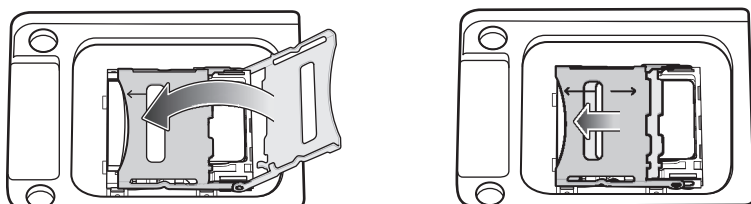
4. 端子が下になるように microSD カードを端子部に置きます。

図 11 microSD カードの取り付け



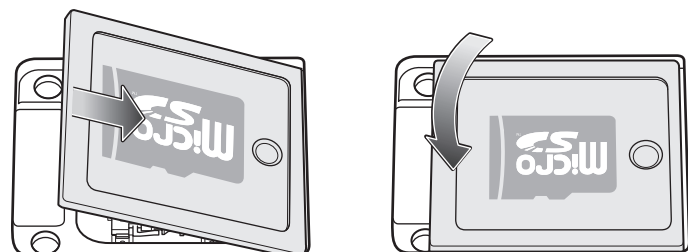
5. microSD カードホルダーを閉じ、microSD カードホルダーを上をスライドさせてロックします。

図 12 microSD カードホルダーのロック



6. microSD カードカバーを再び取り付け、正しく取り付けられていることを確認します。

図 13 カバーの取り付け



MC33XX-G のバッテリーの取付け

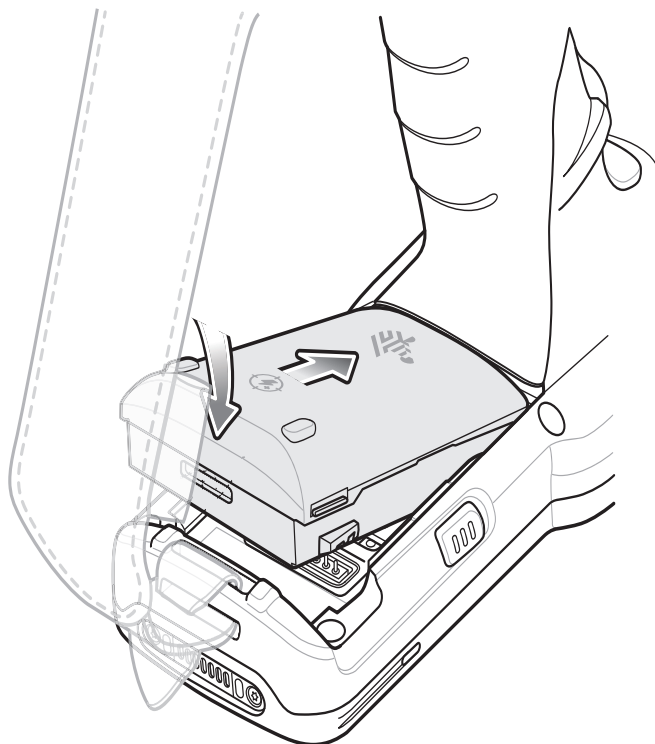
MC33XX-G では、次のバッテリーを使用できます。

- MC33XX 5200 mAh PowerPrecision+ 拡張バッテリー。
- MC32N0 5200 mAh PowerPrecision 拡張バッテリー。

バッテリーを取り付けるには、次の手順に従います。

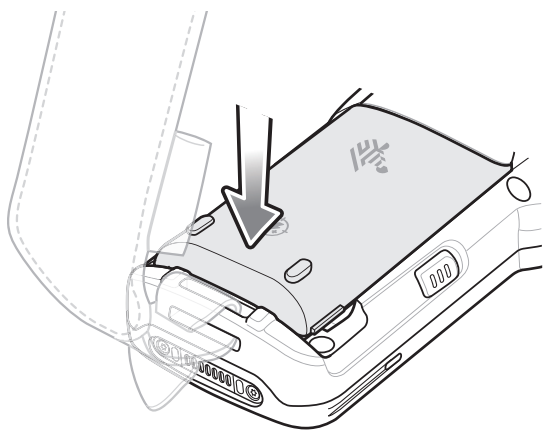
1. 必要に応じて、ハンドストラップを緩めます。
2. バッテリーをバッテリー収納部に合わせます。

図 14 バッテリーの取り付け



3. バッテリーの下部を回転させバッテリー収納部に入れます。
4. バッテリーを下方方向にしっかり押します。MC33XX-G の両側のバッテリー リリース ボタンがホーム ポジションに戻ったことを確認します。

図 15 バッテリーを下方方向に押す



5. 必要に応じて、ハンドストラップを締めます。
6. 電源ボタンを押して、デバイスの電源をオンにします。

MC33XX-R/S のバッテリーの取り付け

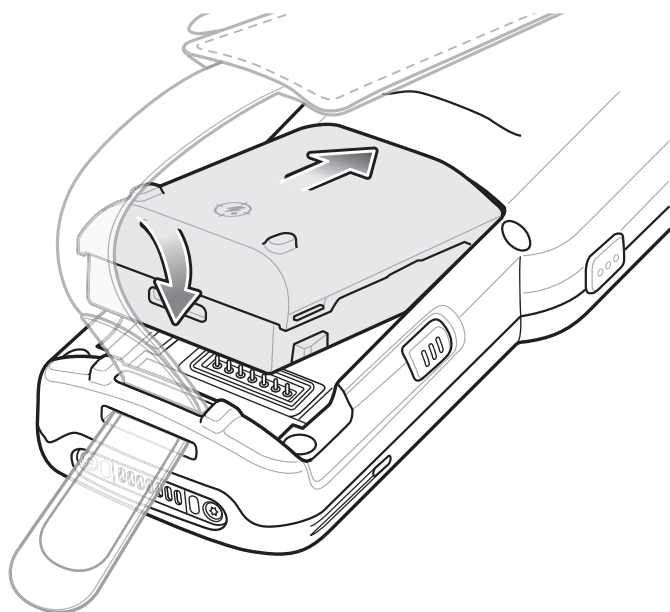
MC33XX-R/S では、次のバッテリーを使用できます。

- MC33XX 2740 mAh PowerPrecision+ 標準バッテリー。
- MC33XX 5200 mAh PowerPrecision+ 拡張バッテリー。
- MC32N0 2740 mAh PowerPrecision 標準バッテリー。
- MC32N0 5200 mAh PowerPrecision 拡張バッテリー。

バッテリーを取り付けるには、次の手順に従います。

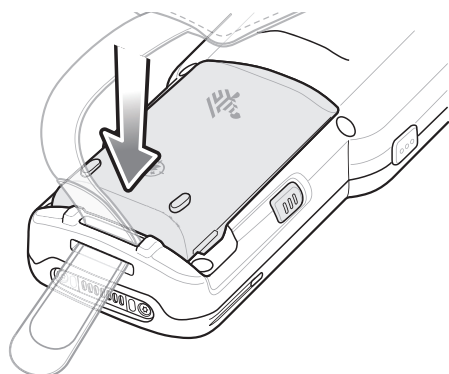
1. 必要に応じて、ハンドストラップを緩めます。
2. バッテリーをバッテリー収納部に合わせます。

図 16 バッテリーの取り付け



3. バッテリーの下部を回転させバッテリー収納部に入れます。
4. バッテリーを下方向にしっかり押します。MC33XX-R/S の両側のバッテリー リリース ボタンがホーム ポジションに戻ったことを確認します。

図 17 バッテリーを下方向に押す



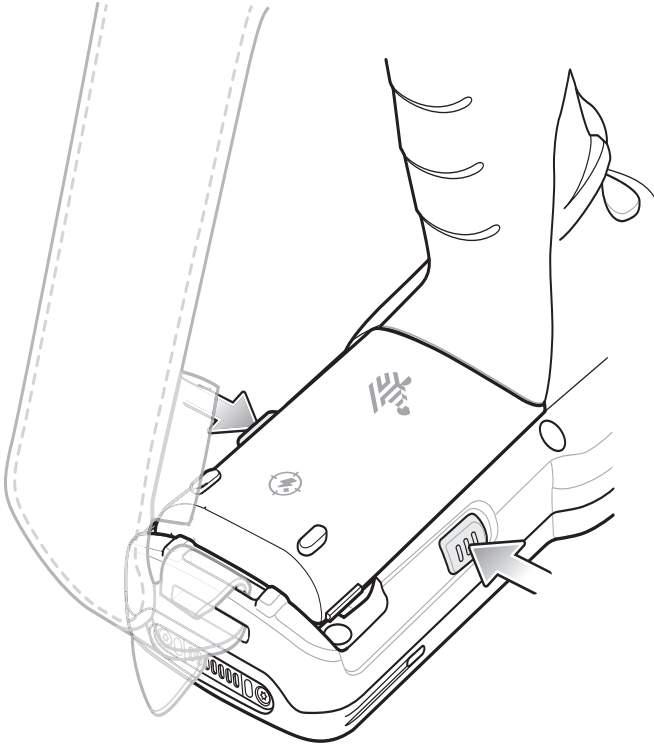
5. 必要に応じて、ハンドストラップを締めます。
6. 電源ボタンを押して、デバイスの電源をオンにします。

MC33XX-G のバッテリーの交換

1. 2つのバッテリー リリース ボタンを押し込みます。

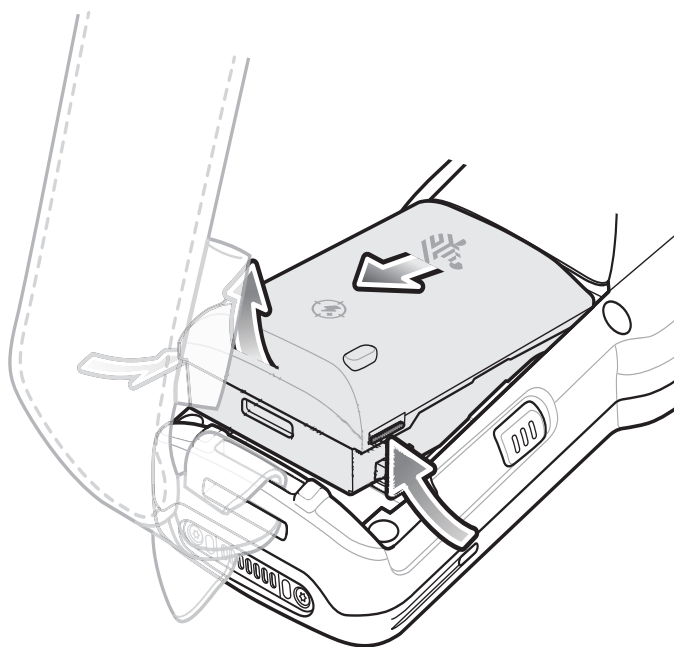
バッテリーが少し外に出ます。ホット スワップ モードでは、ユーザーがバッテリーを取り外すと、ディスプレイがオフになり、デバイスは低電力状態になります。MC33XX-G は RAM データを約 5 分間保持します。メモリ内容を保持するために、5 分以内にバッテリーを交換してください。

図 18 バッテリーの取り外し



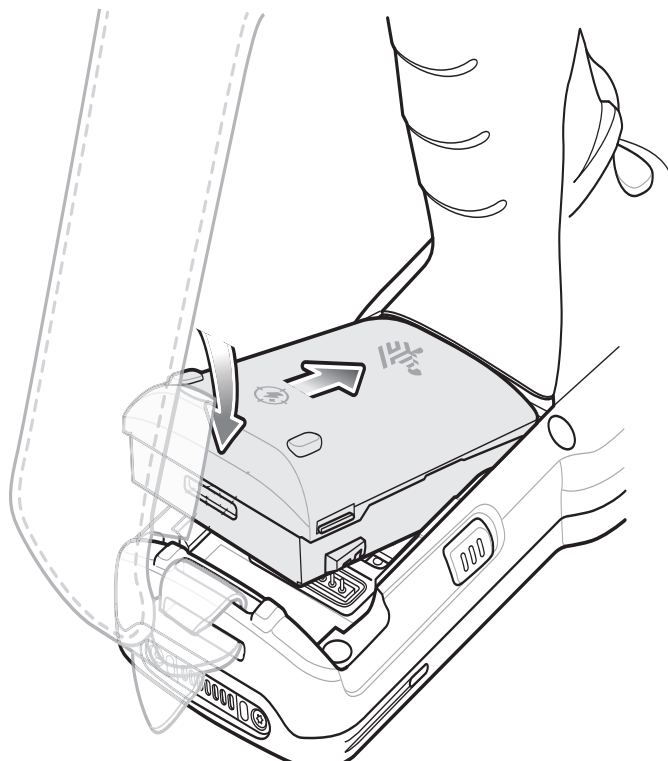
2. バッテリーをバッテリー収納部から取り出します。

図 19 バッテリーの取り外し



3. バッテリーをバッテリー収納部に合わせます。

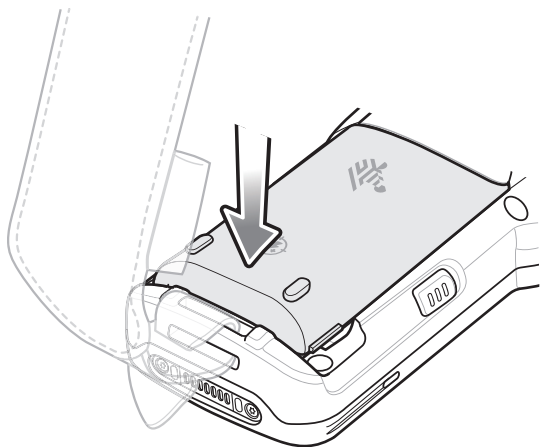
図 20 バッテリーの取り付け



4. バッテリーの下部を回転させバッテリー収納部に入れます。

5. バッテリーを下方方向にしっかり押します。MC33XX-G の両側のバッテリー リリース ボタンがホーム ポジションに戻ったことを確認します。

図21 バッテリーを下方方向に押す



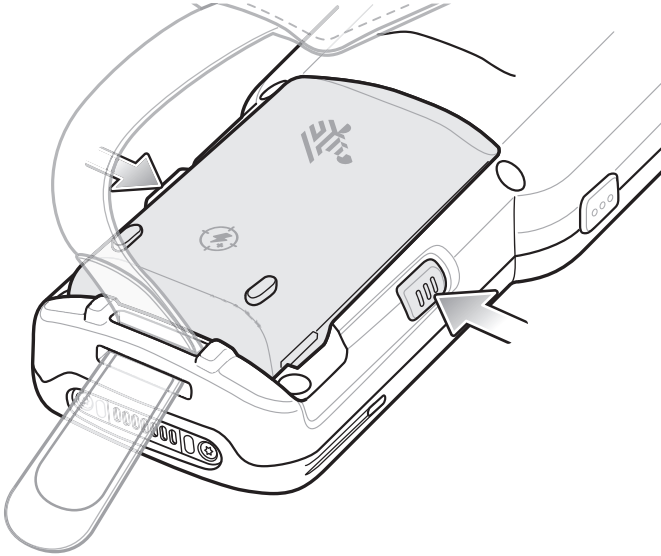
6. 電源ボタンを押して、デバイスの電源をオンにします。

MC33XX-R/S のバッテリーを交換します。

1. 2つのバッテリー リリース ボタンを押し込みます。

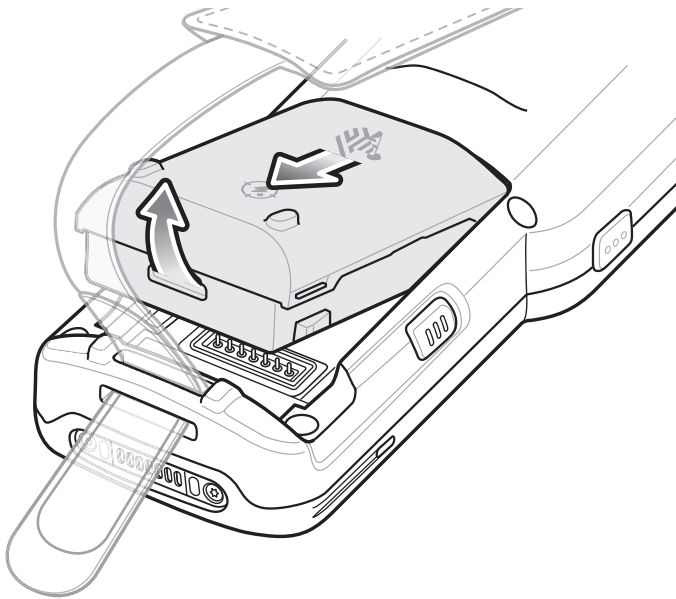
バッテリーが少し外に出ます。ホット スワップ モードでは、ユーザーがバッテリーを取り外すと、ディスプレイがオフになり、デバイスは低電力状態になります。MC33XX-R/S は RAM データを約 5 分間保持します。メモリ内容を保持するために、5 分以内にバッテリーを交換してください。

図 22 バッテリーの取り外し



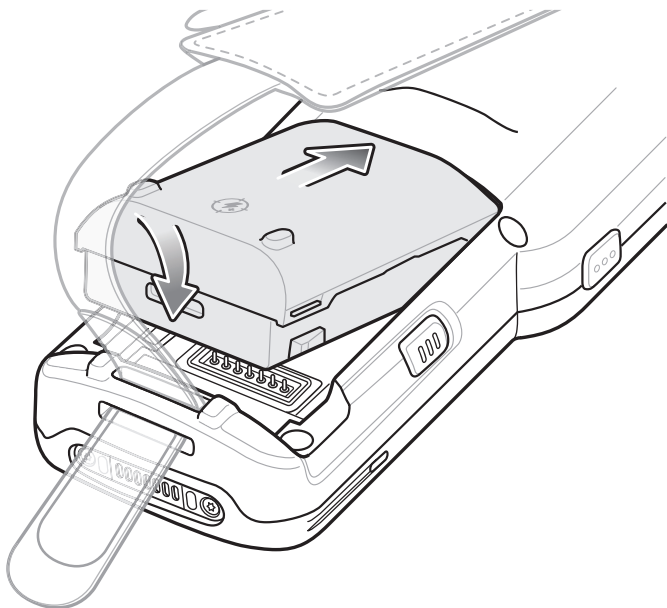
2. バッテリーをバッテリー収納部から取り出します。

図 23 バッテリーの取り外し



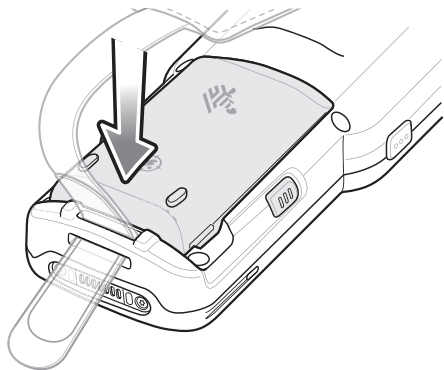
3. バッテリーをバッテリー収納部に合わせます。

図 24 バッテリーの取り付け



4. バッテリーの下部を回転させバッテリー収納部に入れます。
5. バッテリーを下方向にしっかり押します。MC33XX-R/S の両側のバッテリー リリース ボタンがホーム ポジションに戻ったことを確認します。

図 25 バッテリーを下方向に押す



6. 電源ボタンを押して、デバイスの電源をオンにします。

互換性

以下の表は、MC33XX と MC32N0 モバイル コンピュータとアクセサリの互換性を示しています。

表 7 互換性

	MC33XX PP+ バッテリー	MC32N0 PP バッテリー	MC33XX クレードル	MC32N0 クレードル	MC33XX バッテリー充電器	MC32N0 バッテリー充電器
MC33XX モバイル コンピュータ	○	○	○	○ アダプタあり	N/A	N/A
MC32N0 モバイル コンピュータ	×	○	×	○	N/A	N/A
MC33XX PP+ バッテリー	N/A	N/A	○	×	○	×
MC32N0 PP バッテリー	N/A	N/A	○	○	○	○

- MC33XX モバイル コンピュータは、すべてのバッテリー (MC33XX PowerPrecision+ および MC32N0 PowerPrecision) と互換性があります。
- MC33XX モバイル コンピュータはすべてのクレードルに対応しています。
MC32N0 クレードル スロットを使用するには、追加のアダプタが必要です。これは、充電のみで、通信機能は提供されません。
- MC33XX バッテリー充電スロットは、すべてのバッテリー (MC33XX PowerPrecision+ および MC32N0 PowerPrecision) と互換性があります。
- MC32N0 モバイル コンピュータは MC33XX クレードルと互換性がありません。

バッテリーの比較

以下の表は、MC33XX バッテリーと MC32N0 バッテリーの比較を示しています。

表 8 バッテリーの比較

機能	MC32N0	MC33XX
バッテリーのタイプ	PowerPrecision	PowerPrecision+
Zebra と PowerPrecision+ の型押し風口ゴが含まれています	×	○
バックラベル	グレー	ブルー

バッテリーの互換性

- MC33XX PowerPrecision+ バッテリーは、すべての MC33XX モバイル コンピュータおよびアクセサリと互換性があります。
- MC33XX PowerPrecision+ バッテリーは、MC32N0 モバイル コンピュータおよびアクセサリと互換性はありません。
- MC32N0 PowerPrecision バッテリーは、すべての MC32N0 モバイル コンピュータおよびアクセサリと互換性があります。
- MC32N0 PowerPrecision バッテリーは、すべての MC33XX モバイル コンピュータおよびアクセサリと互換性があります。
- MC33XX-G は、MC33XX 5200 mAh PowerPrecision+ 拡張バッテリーおよび MC32N0 5200 mAh PowerPrecision 拡張バッテリーと互換性があります。
- MC33XX-R/S は、MC33XX 2740 mAh PowerPrecision+ 標準バッテリー、MC33XX 5200 mAh PowerPrecision+ 拡張バッテリー、MC32N0 2740 mAh PowerPrecision 標準バッテリー、MC32N0 5200 mAh PowerPrecision 拡張バッテリーと互換性があります。

MC33XX の充電

MC33XX や予備バッテリーを充電するには、次のアクセサリのいずれかを使用します。

表 9 充電と通信

説明	部品番号	充電機能		通信	
		バッテリー (デバイス内)	予備バッテリー	USB	イーサ ネット
1 スロット USB 充電クレードル (予備バッテリー充電器付き)	CRD-MC33-2SUCHG-01	○	○	○	×
5 スロット充電専用 ShareCradle	CRD-MC33-5SCHG-01	○	×	×	×
5 スロット イーサネット ShareCradle	CRD-MC33-5SETH-01	○	×	×	○
5 スロット充電 ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き)	CRD-MC33-4SC4BC-01	○	○	×	×
5 スロット イーサネット ShareCradle (4 スロット バッテ リ充電器付き)	CRD-MC33-4SE4BC-01	○	○	×	○
4 スロット予備バッテリー充電器	SAC-MC33-4SCHG-01	×	○	×	×
20 スロット予備バッテリー充電器	SAC-MC33-20SCHG-01	×	○	×	×
USB 充電ケーブル	CBL-MC33-USBCHG-01	○	×	○	×
MC32N0 1 スロット クレードル (MC33XX クレードル アダプタ 付き)	CRD3000-1001RR ADP-MC33-CRDCUP-01	○	○ (予備バッテリース ロットに MC32N0 バッテリーのみを 充電)	○	×



注 『MC33XX User Guide』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従っていることを確認してください。

1. メイン バッテリーを充電するには、充電アクセサリを適切な電源に接続します。
2. MC33XX をクレードルにセットするか、ケーブルを接続します。MC33XX の電源がオンになり、充電が開始されます。充電中は、充電/通知 LED が黄色で点滅し、充電が完了すると緑色で点灯します。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の温度で行います。デバイスまたはクレードルは、常に安全で適切な方法で充電が行われます。高温時 (約 +37°C (+98°F) など) には、バッテリーを適切な温度に保つため、短時間バッテリーの充電を中止したり再開したりすることがあります。異常な温度のため充電を中止した場合には LED が点灯します。

予備バッテリーの充電

1. 予備バッテリー スロットに、予備バッテリーを挿入します。
2. バッテリーが正しく取り付けられていることを確認してください。

充電中であることを示す、予備バッテリー充電 LED が点滅します。充電インジケータについては、[表 10](#) を参照してください。

表 10 充電/通知 LED 充電インジケータ

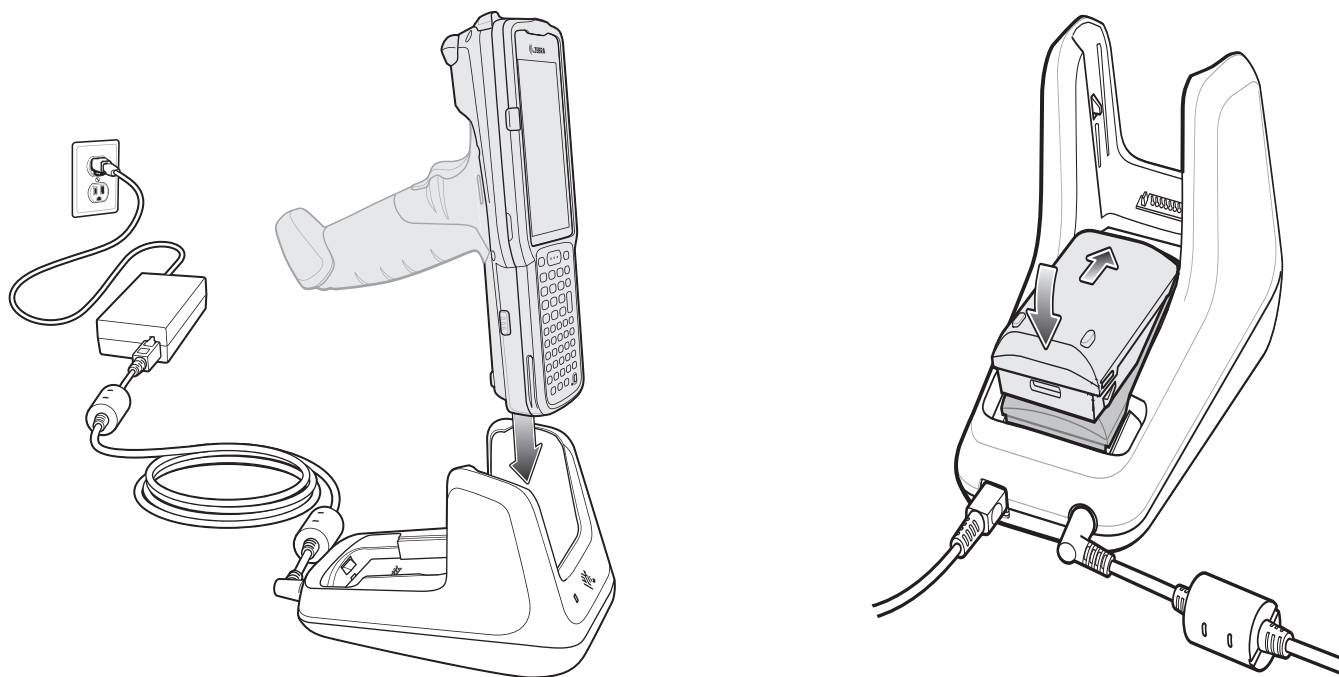
状態	意味
消灯	• バッテリーが充電されません。 • バッテリーが正しくクレードルに挿入されていないか、電源に接続されていません。 • クレードルに電源が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅 3 秒ごと	• バッテリーは充電中ですが、完全に空になっており、まだデバイスを使用するには十分な充電がされていません。
黄色の点灯	• バッテリーが充電中です。
緑色の点灯	• バッテリーの充電が完了しました。
赤色で速く点滅 (1 秒間に 2 回点滅)	充電エラーです。次のような場合に、この状態になります。 • 温度が低すぎる、または高すぎる。 • 充電完了までの時間が長すぎる (通常は 8 時間)。
赤色の点灯	• 予備バッテリーが充電中です。バッテリーの寿命が近づいています。 • 充電が完了しました。バッテリーの寿命が近づいています。

1 スロット USB 充電クレードル

1 スロット USB 充電クレードルには、次のような機能があります。

- モバイル コンピュータおよびバッテリーの充電用に 9 V の DC 電力を供給する。
- 予備バッテリーの充電用に 4.2 V の DC 電力を供給する。
- モバイル コンピュータとホスト コンピュータやその他の USB デバイス (プリンタなど) の間のデータ通信用に USB ポートを提供する。
- モバイル コンピュータとホスト コンピュータの間で情報を同期する。カスタマイズされたソフトウェアやサードパーティ製のソフトウェアを使用すれば、モバイル コンピュータと会社のデータベースを同期することも可能です。
- 以下のバッテリーと互換性があります。
 - MC33XX 2740 mAh PowerPrecision+ 標準バッテリー。
 - MC33XX 5200 mAh PowerPrecision+ 拡張バッテリー。
 - MC32N0 2740 mAh PowerPrecision 標準バッテリー。
 - MC32N0 5200 mAh PowerPrecision 拡張バッテリー。

図 26 1 スロット USB 充電クレードル

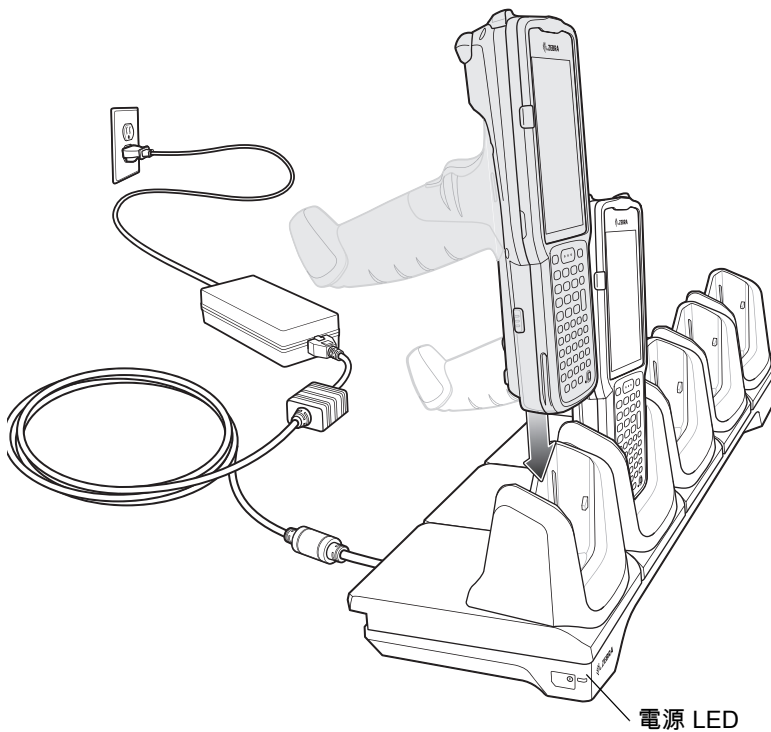


5 スロット充電専用 ShareCradle

5 スロット充電専用 ShareCradle には、次のような機能があります。

- モバイル コンピュータの動作およびバッテリーの充電用に 9 V の DC 電力を供給する。
- 最大 5 台のモバイル コンピュータを同時に充電する。
- 以下のバッテリーを使用するデバイスと互換性があります。
 - MC33XX 2740 mAh PowerPrecision+ 標準バッテリー。
 - MC33XX 5200 mAh PowerPrecision+ 拡張バッテリー。
 - MC32N0 2740 mAh PowerPrecision 標準バッテリー。
 - MC32N0 5200 mAh PowerPrecision 拡張バッテリー。

図 27 5 スロット充電専用 ShareCradle

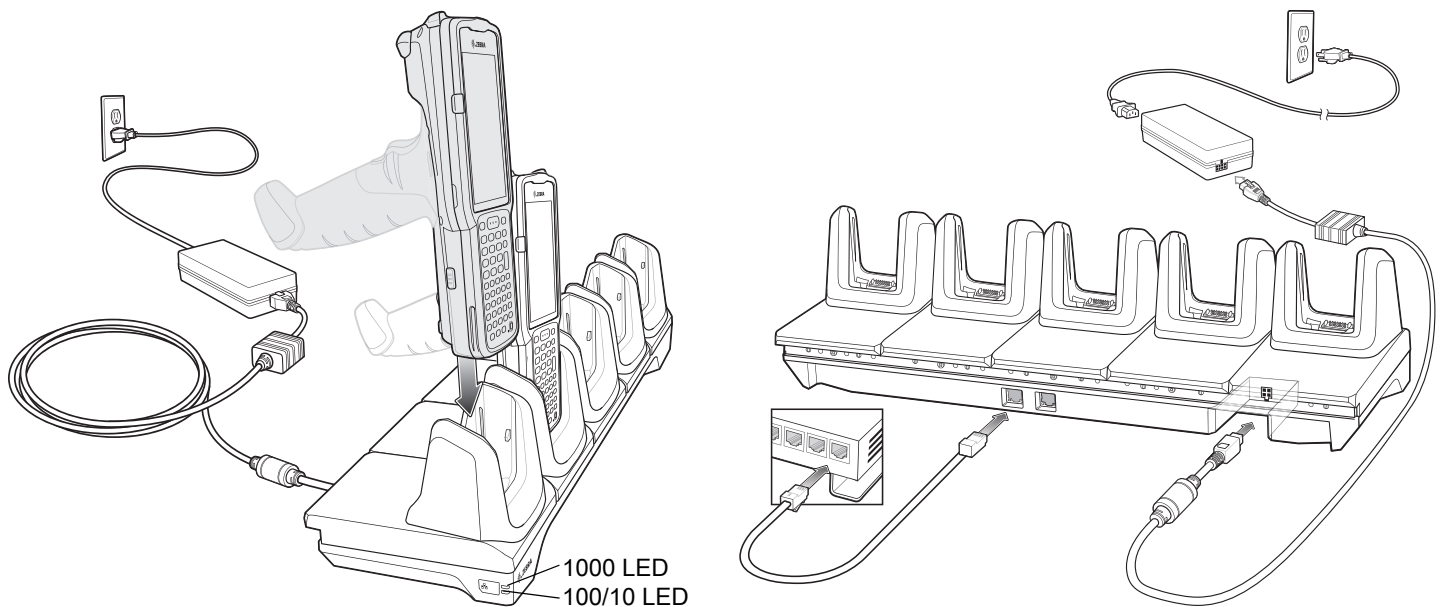


5 スロット イーサネット ShareCradle

5 スロット イーサネット ShareCradle には、次のような機能があります。

- モバイル コンピュータの動作およびバッテリーの充電用に 9 V の DC 電力を供給する。
- 最大 5 台のモバイル コンピュータを同時に充電する。
- 以下のバッテリーを使用するデバイスと互換性があります。
 - MC33XX 2740 mAh PowerPrecision+ 標準バッテリー。
 - MC33XX 5200 mAh PowerPrecision+ 拡張バッテリー。
 - MC32N0 2740 mAh PowerPrecision 標準バッテリー。
 - MC32N0 5200 mAh PowerPrecision 拡張バッテリー。

図 28 5 スロット イーサネット ShareCradle

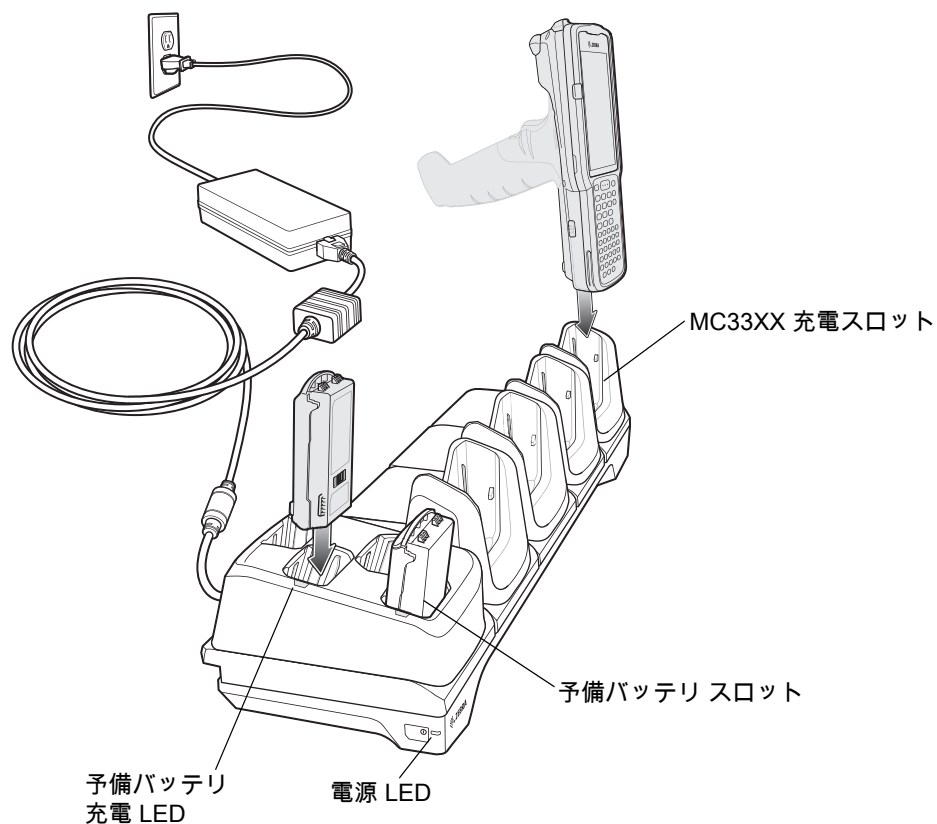


5 スロット ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き)

5 スロット ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き) には、次のような機能があります。

- モバイル コンピュータの動作およびバッテリーの充電用に 9 V の DC 電力を供給する。
- 予備バッテリーの充電用に 4.2 V の DC 電力を供給する。
- 最大 4 台のモバイル コンピュータと 4 台の予備バッテリーを同時に充電する。
- 以下のバッテリーと互換性があります。
 - MC33XX 2740 mAh PowerPrecision+ 標準バッテリー。
 - MC33XX 5200 mAh PowerPrecision+ 拡張バッテリー。
 - MC32N0 2740 mAh PowerPrecision 標準バッテリー。
 - MC32N0 5200 mAh PowerPrecision 拡張バッテリー。

図 29 5 スロット ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き)

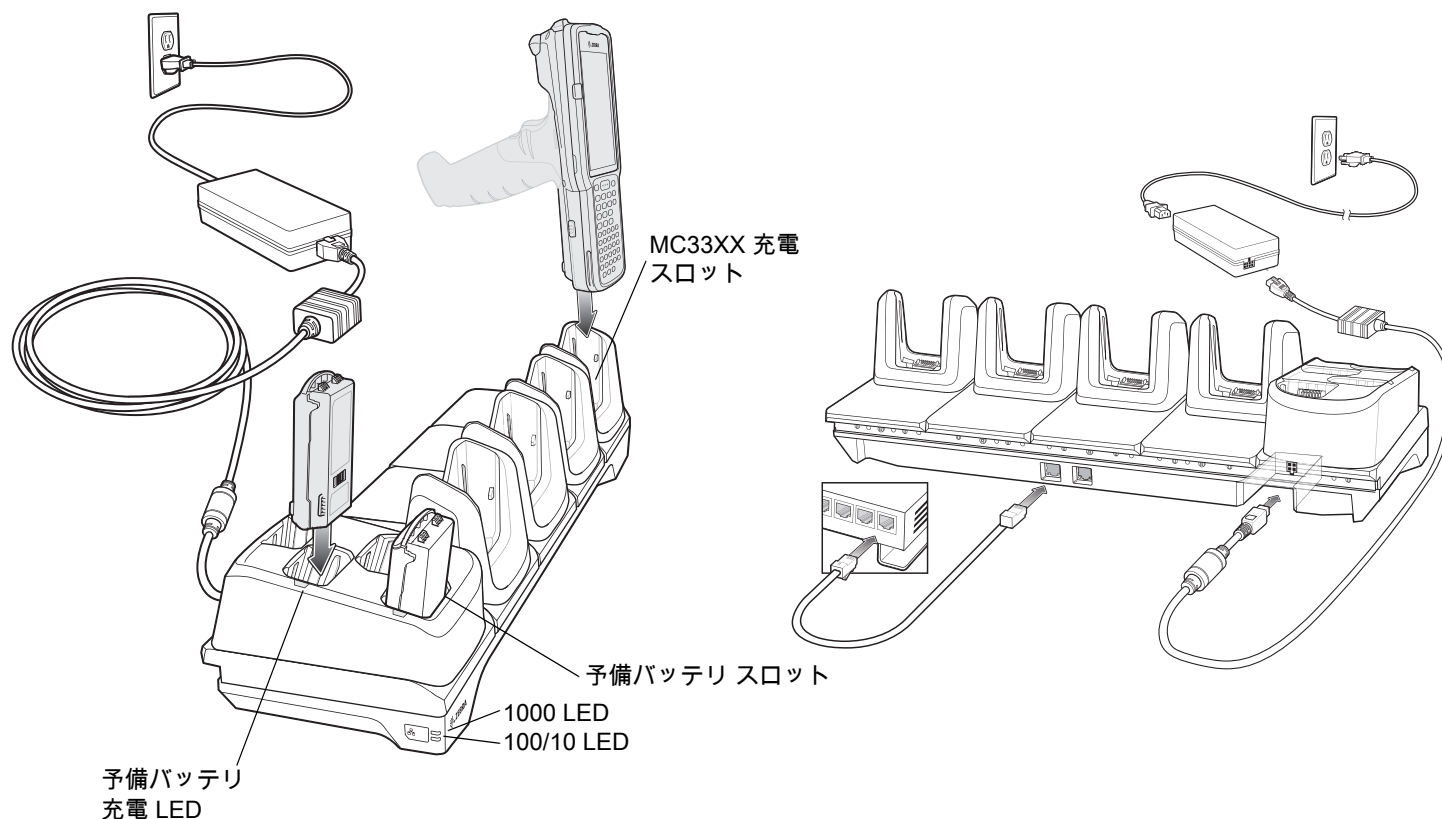


5 スロット イーサネット ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き)

5 スロット イーサネット ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き) には、次のような機能があります。

- モバイル コンピュータの動作およびバッテリーの充電用に 9 V の DC 電力を供給する。
- 予備バッテリーの充電用に 4.2 V の DC 電力を供給する。
- 最大 4 台のモバイル コンピュータと 4 台の予備バッテリーを同時に充電する。
- 以下のバッテリーと互換性があります。
 - MC33XX 2740 mAh PowerPrecision+ 標準バッテリー。
 - MC33XX 5200 mAh PowerPrecision+ 拡張バッテリー。
 - MC32N0 2740 mAh PowerPrecision 標準バッテリー。
 - MC32N0 5200 mAh PowerPrecision 拡張バッテリー。

図 30 5 スロット イーサネット ShareCradle (4 スロット バッテリー充電器付き)

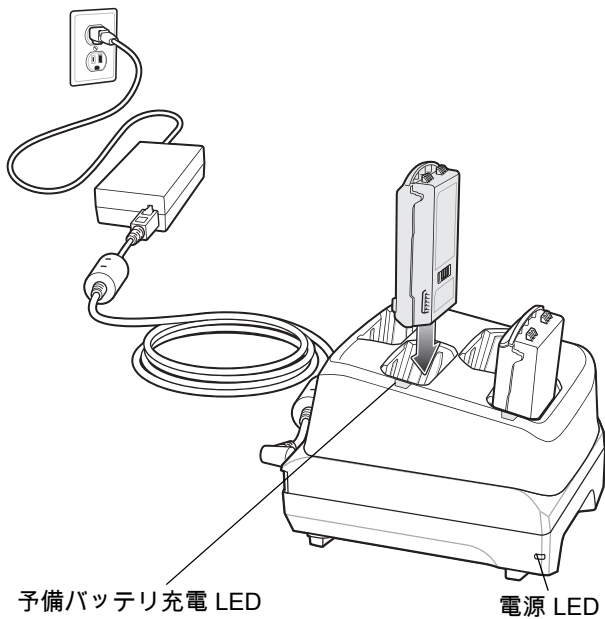


4 スロット 予備バッテリー充電器

4 スロット 予備バッテリー充電器には、次のような機能があります。

- 最大 4 個の MC33XX の予備バッテリーを充電する。
- 予備バッテリーの充電用に 4.2 V の DC 電力を供給する。
- 以下のバッテリーと互換性があります。
 - MC33XX 2740 mAh PowerPrecision+ 標準バッテリー。
 - MC33XX 5200 mAh PowerPrecision+ 拡張バッテリー。
 - MC32N0 2740 mAh PowerPrecision 標準バッテリー。
 - MC32N0 5200 mAh PowerPrecision 拡張バッテリー。

図 31 4 スロット 予備バッテリー充電器

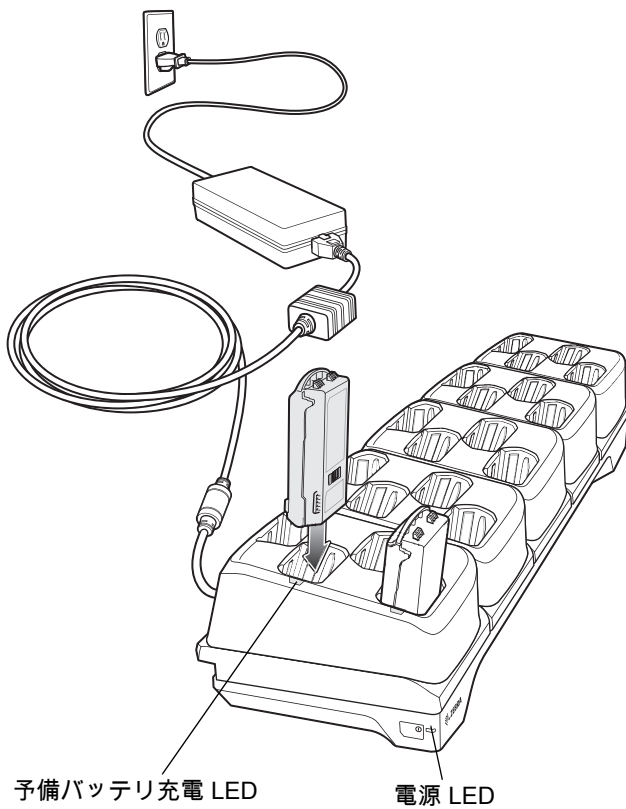


20 スロット 予備バッテリー充電器

20 スロット 予備バッテリー充電器には、次のような機能があります。

- 最大 20 個の MC33XX の予備バッテリーを充電する。
- 予備バッテリーの充電用に 4.2 V の DC 電力を供給する。
- 以下のバッテリーと互換性があります。
 - MC33XX 2740 mAh PowerPrecision+ 標準バッテリー。
 - MC33XX 5200 mAh PowerPrecision+ 拡張バッテリー。
 - MC32N0 2740 mAh PowerPrecision 標準バッテリー。
 - MC32N0 5200 mAh PowerPrecision 拡張バッテリー。

図 32 20 スロット 予備バッテリー充電器

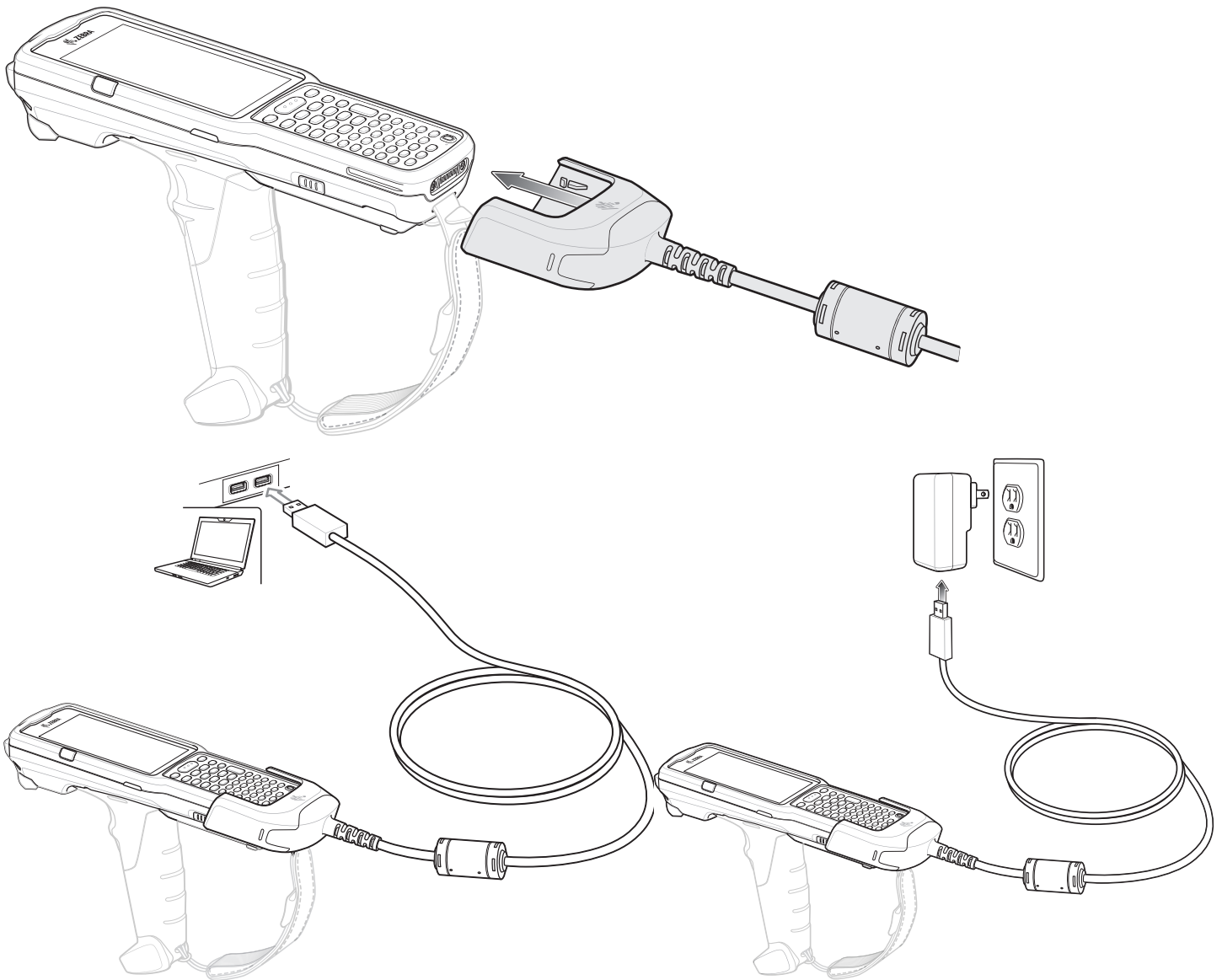


USB 充電ケーブル

USB/充電ケーブルは、次を行います。

- バッテリーの充電に必要な 5 V の DC 電力を供給する。
- ホスト コンピュータと USB 経由でデバイスへの電源供給および/または通信を行う。
- 以下のバッテリーを使用するデバイスと互換性があります。
 - MC33XX 2740 mAh PowerPrecision+ 標準バッテリー。
 - MC33XX 5200 mAh PowerPrecision+ 拡張バッテリー。
 - MC32N0 2740 mAh PowerPrecision 標準バッテリー。
 - MC32N0 5200 mAh PowerPrecision 拡張バッテリー。

図 33 USB 充電ケーブル



MC33XX 充電専用アダプタ

MC32N0 クレードルと MC33XX モバイル コンピュータとの下位互換性を保つために、MC33XX 専用アダプタを使用してください。

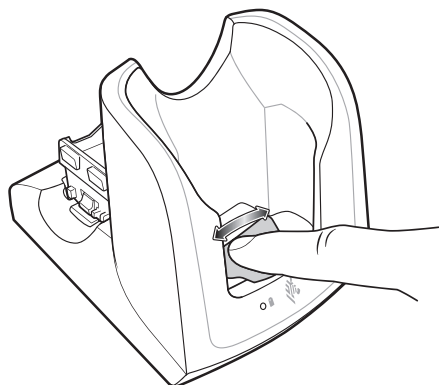
- MC33XX 充電専用アダプタは、MC32N0 1 スロット USB クレードル、MC32N0 4 スロット充電専用クレードル、および MC32N0 4 スロット イーサネット クレードルをサポートします。
- MC33XX 充電専用アダプタは充電のみをサポートします。MC32N0 クレードルと一緒に使用すると通信は行えません。
- MC32N0 1 スロット USB クレードルは、デバイスを充電するために 5.4 V の DC 電力を供給します。
- MC32N0 1 スロット USB クレードル (MC33XX 充電専用アダプタ付き) は、MC33XX PowerPrecision+ バッテリまたは MC32N0 PowerPrecision バッテリを充電する MC33XX モバイル コンピュータと互換性がありますが、MC32N0 1 スロット USB クレードルの予備バッテリー スロットは、MC32N0 PowerPrecision バッテリのみと互換性があります。

MC33XX 充電専用アダプタの取り付け

MC33XX 充電専用アダプタを取り付けるには、次の手順に従います。

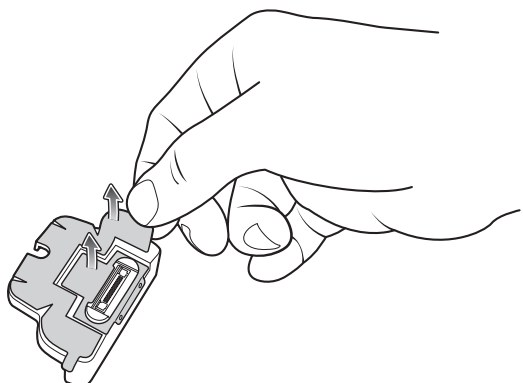
1. アルコール ウェット ティッシュを指で前後に動かして、MC32N0 クレードルと端子をクリーニングします。
クリーニングの詳細については、『MC33XX Mobile Computer User Guide』の「メンテナンスとトラブルシューティング」の章を参照してください。

図 34 MC32N0 クレードルのクリーニング



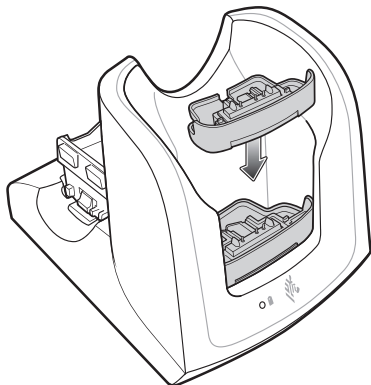
2. アダプタの背面から接着テープをはがして取り外します。

図 35 接着テープの取り外し



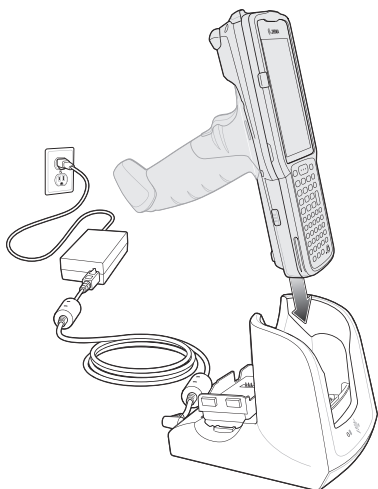
3. アダプタを MC32N0 クレードルに挿入し、クレードルの下部に装着します。

図 36 クレードルへのアダプタの挿入と装着



4. MC32N0 クレードルに MC33XX デバイスを装着します。

図 37 MC33XX デバイスを MC32N0 クレードルに挿入



スキャン

MC33XX では、以下の方法でデータを読み取ることができます。

- イメージャ :
 - SE4750-SR 2D
 - SE4850-ER 2D
- レーザー スキャナ :
 - SE965 1D

詳細については、『MC33XX Mobile Computer User Guide』を参照してください。

イメージャによるバーコード キャプチャ

バーコード データを読み取るには、次の手順に従います。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. デバイスの先端をバーコードの方に向けます。
3. スキャン ボタンまたはトリガを押し続けます。
照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。
4. 照準パターンの十字の領域にバーコードが納まっていることを確認します。明るい照明下でもよく見えるようにドットの照準を使用しています。

スキャン LED が緑色で点灯してビープ音が鳴り (デフォルト設定の場合)、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。デバイスがピック リスト モードの場合、十字の照準の中心がバーコードに当たるまでデバイスはバーコードを読み取りません。

図 38 照準パターン: 基準範囲および基準範囲外

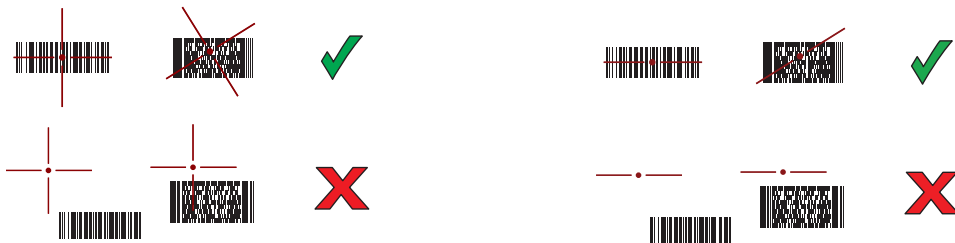


図 39 ピック リスト モード (複数のバーコードが照準パターン内にある場合): 基準範囲および基準範囲外



5. スキャン ボタンまたはトリガを放します。
6. バーコード コンテンツ データが、テキスト フィールドに表示されます。

レーザー スキャナによるバーコード キャプチャ

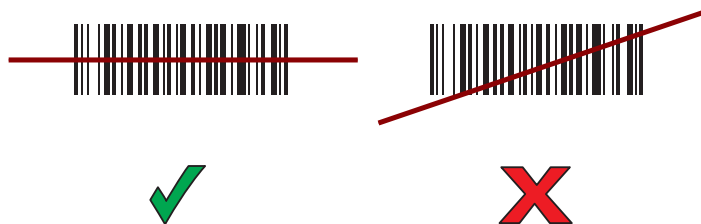
バーコード データを読み取るには、次の手順に従います。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキスト フィールドがフォーカスされている (テキスト カーソルがテキスト フィールドにある) ことを確認します。
2. デバイスの先端をバーコードの方に向けます。
3. スキャナ ウィンドウをバーコードに向けます。
4. 照準を合わせるための赤色のレーザー照準パターンがオンになります。

照準を合わせるための赤色のスキャン ラインがオンになります。スキャン ラインがバーコードのすべてのバーとスペースを横切るようにします。

スキャン LED が緑色で点灯してピープ音が鳴り (デフォルト設定の場合)、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。

図 40 レーザー スキャナの照準パターン



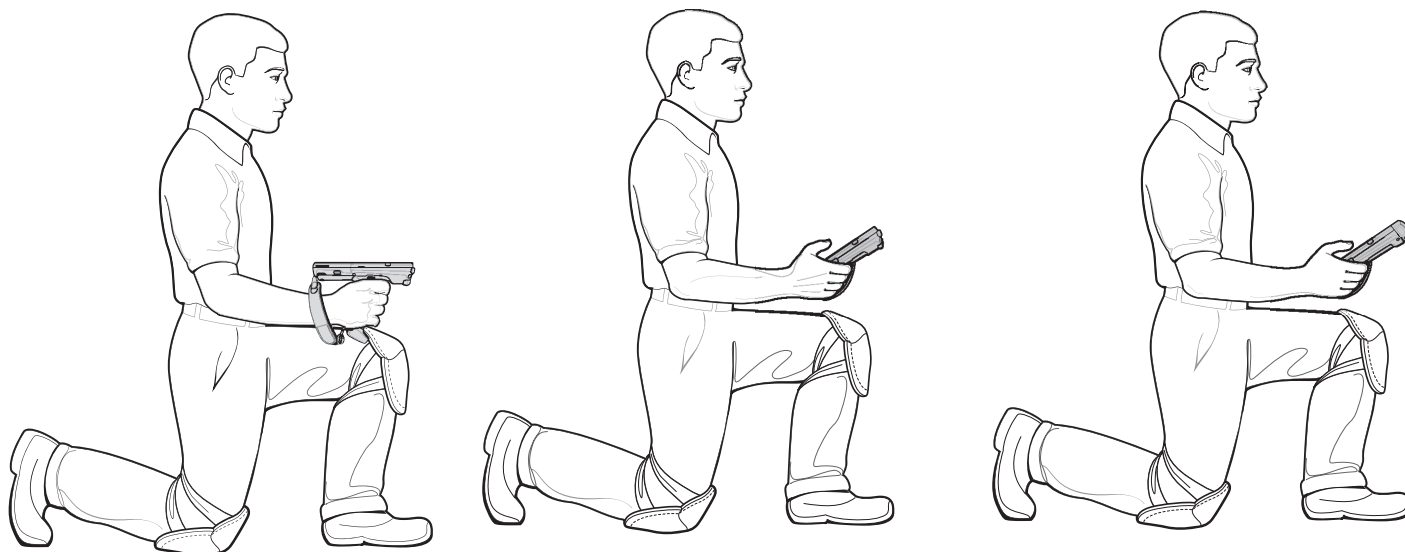
5. スキャン ボタンを放します。
6. 読み取られたデータがテキスト フィールドに表示されます。

人間工学に関する考慮事項

作業時は適度な休憩を取ることを推奨します。

スキャン位置が低い場合の最適姿勢

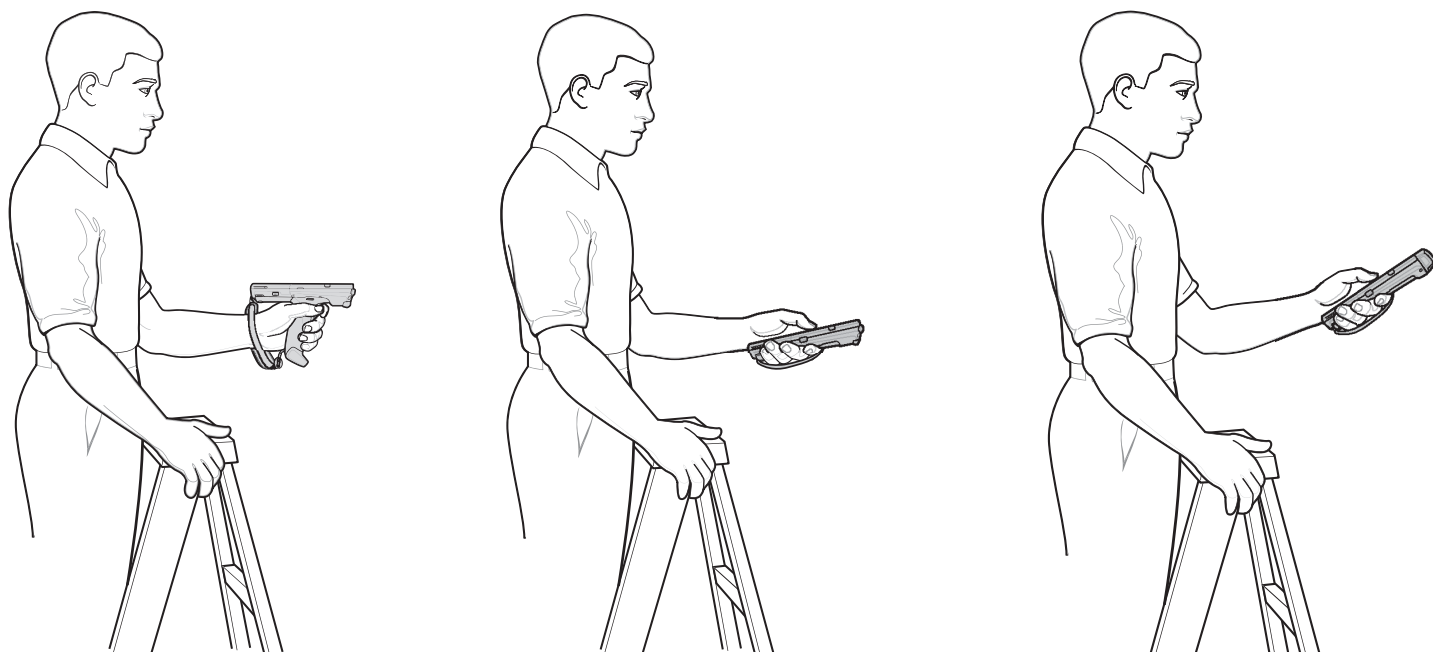
図41 スキャン位置が低い場合



左右の膝を交互に使用してください。

スキャン位置が高い場合の最適姿勢

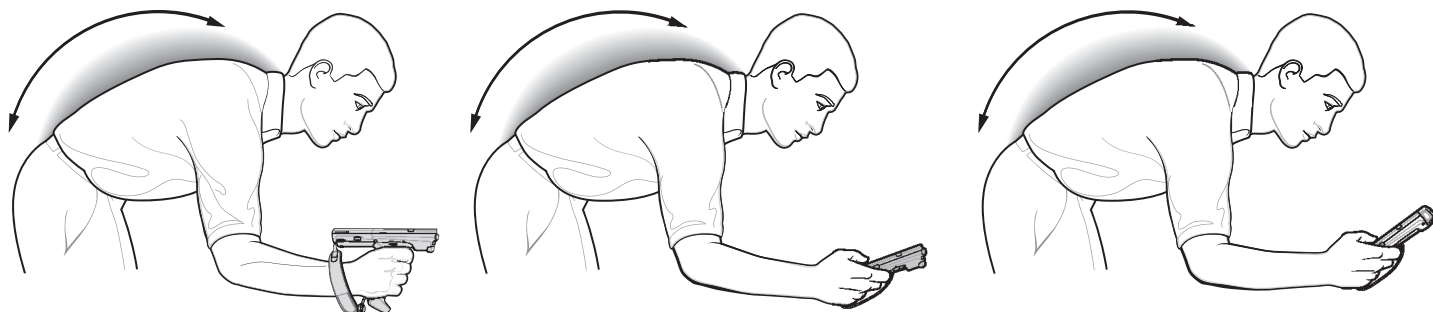
図42 スキャン位置が高い場合



左右の手を交互に使用してください。

腰を曲げて作業しないでください

図43 腰を曲げて作業しないでください



無理に腕を曲げないでください

図44 無理に腕を曲げないでください



手首を極端に曲げないでください

図45 手首を極端に曲げないでください

